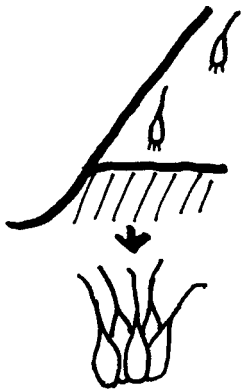


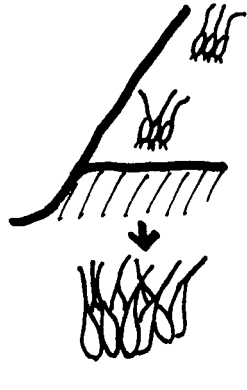
### 植え付け方法

1球植え



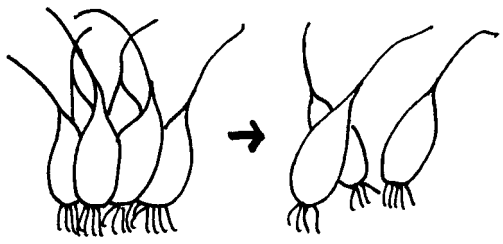
大球がとれます。

3球植え



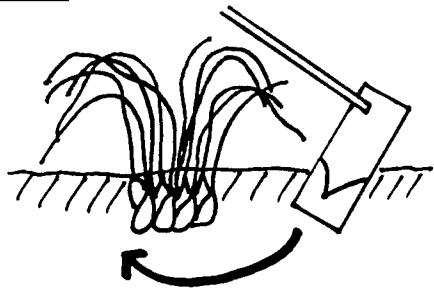
球は小さいですが、数がたくさんとれます。

### 種球の準備



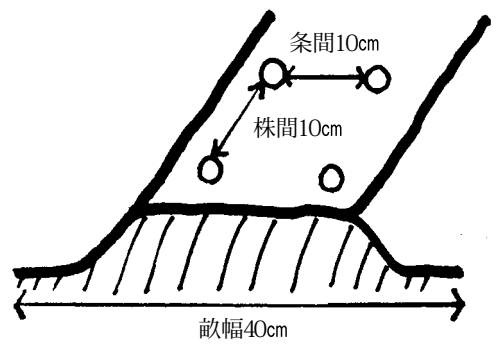
1球ずつにばらして、枯れ葉を取り除いておきましょう。充実の悪い球や小さい球は種球として使いません。

### 収穫



地上部が枯れ始めたらかワで球を傷つけないように掘り取りましょう。

### 植え付け



### 今月の作業

#### ★かん水の方法

一般的には株元の土が白く乾いてきたらかん水を行います。表土から握りこぶしひとつ分くらいの深さまで、十分に水が浸透するように、かん水するのがポイントです。

盛夏期には、かん水回数や量も多くなります。日中にかん水をするとう根を傷めるので、朝夕の涼しいときに行いましょう。

#### ★敷きワラ

畝の表面を覆うことにより、地温が上がって表土が乾くことを防ぎます。また、雑草も生えにくくなります。雨が降ったとき土がハネ返って葉や茎につくと、土にある病原菌によって病気をひき起こすことがあります。敷きワラをすることによって、土のハネ返りを防ぐと、病気の発生を防ぐこともできます。

# 楽しい家庭菜園



農業試験場三木分場  
伊藤 博紀

## ラッキョウを作ろう！

中国原産の多年草で、日本では平安時代から薬用として用いられていましたが、その後、おもに酢漬けなどの食用として利用されるようになりました。含まれる成分であるアリシンは、ビタミンB<sub>1</sub>を吸収しやすくし殺菌、発汗、利尿等の薬効が認められます。

①栽培のポイント  
乾燥地、やせ地でも栽培できる強い作物です。寒さには強く良く育ちますが、暑さには弱いので植え付け時期は厳守しましょう。ただし、植え付けが遅れるのも減収につながるので、注意して下さい。

栽培は、一年で収穫する一年掘りと、そのままもう一年おく二年掘りの二通りの栽培方法があります。一年で収穫するより、二年目に収穫するほうが小さくなる性質があります。

②家庭菜園に適した品種  
分球が少なく大粒となる「らくだ種」と、小粒で良く分球する「玉ラッキョウ」が代表種です。二年栽培では、「玉ラッキョウ」は球が小さくなるので適しません。今回は、「玉ラッキョウ」の一年栽培について紹介します。


③畑の準備  
排水のよい畑を選び、植え付け二週間前に、一〇㎡当たり苦土石灰1kgをまいて、荒起こしをします。一週間前には、化成肥料を一〇㎡当たり五〇〇g施し、幅四〇cmの畝を作ります。

④種球の準備と植え付け  
種球は一〇㎡当たり四kg用意し、植え付けは、少し涼しくなる八月下旬から九月中旬頃に行います。収穫球の大きさは、球の植え込み数によって大小になります。図を参考にして植え付けて下さい。

⑤手入れ  
追肥は、育ち具合を見て、葉色が淡いようなら春先に少量の化成肥料を施し、土寄せを行います。また、土寄せは追肥の有無に関わらず、球が露出して青球になるのを防ぐため春と秋に一回ずつ除草を兼ねて行います。

⑥収穫  
6月に球が肥大し、葉が枯れた頃に収穫します。

### 栽培時期

作型 \ 時期	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	適する品種
普通栽培	△ - △ 												玉ラッキョウ

△ 植え付け       収穫